

どうさんニュース



インフルエンザよもやま話

有名な誰もが知っている風邪ウイルスですがこれほど**誤解**の多い病気もありません。

誤解1：鳥インフルエンザは鳥の病気であって現在人に流行しているインフルエンザA、インフルエンザBは別のウイルスで鳥はかからない。

〈正解〉全てのインフルエンザウイルス(A.B.C.D…)は宿主である鳥の腸内で繁殖し、越冬する渡り鳥の排泄物から哺乳類にうつすけれど、全てのインフルエンザが人にうつるわけではなく、特別な遺伝子変異が発生して人とか動物にもかかりやすくなった種類に限られます。

誤解2：インフルエンザの診断はキット試験でしかできない。

〈正解〉キット試験のみで確定診断はできません。キット試験の診断率は95%以下と考えて下さい。本来は病巣部位からウイルスを検出すべきですが手間暇がかかりすぎ日常の診察の役に立ちません。最近は培養法にかわってLAMP法と呼ばれるウイルス遺伝子を短時間で増幅させる方法が考えだされましたが、まだまだ一般的ではありません。

誤解3：インフルエンザにかかったら抗インフルエンザ薬で治療しないと治らない、あるいは合併症を発症する。

〈正解〉20年前までは現在使用されている抗インフルエンザ薬は地球上に存在しませんでした。すべてのインフルエンザ患者は自力で治すしかありませんでした。予防効果が低くてもワクチンを接種すること、手洗い、うがいをすることでかなり発症数を減らすことができます。又現在の薬はインフルエンザウイルスが細胞内に入り込むのを防ぐだけでウイルスを殺す力はなく、解熱しても鼻の奥にまだウイルスが生きています。治療の中止・治癒判断は医師の指示に従って下さい。

誤解4：インフルエンザワクチンは子どもでも1回接種で十分効いて2回打つ必要はない。

〈正解〉厚労省は13歳未満の子供の2回接種をすすめ、最近では接種量を増やしてもいますが、それでも予防効果を示す血中インフルエンザ抗体の上りが不十分で、発症予防の力不足なのが現状です。

誤解5：熱が下がったら病気は治っておりもう安心してよい。

〈正解〉インフルエンザの発熱には二峰性の発熱もあります。初回の発熱は1日位で一度解熱し、半日くらいで2回目の高熱が始まります。又順調に治療が進んで完全に治癒しても免疫力が回復するのに約4週間かかります。次の病気をもらいやすくなるし重症化しやすいのでしばらくは人込みを避けて手洗い、うがいを心がけましょう。

2月の親子サークルの予定

みかん	5	19	26(月)	お誕生会は20日です
いちご	6	20	27(火)	

お出かけサークル(金)

9日	赤羽若者センター	
16日	みそ作り体験	申込み〆切 2/13
23日	種まき権兵衛の里	



2月の休日診療当番医

	尾鷲市	紀北町
2/4(日)		海山レディース
11(日)		尾鷲総合病院
12(月)		尾鷲総合病院
18(日)		尾辻医院
25(日)		尾鷲総合病院